

功績者表彰式のお知らせ

シンポジウム終了後、会場を16階に移して植物防疫の発展に寄与された功績者の表彰式及び祝賀会を開催いたします。お時間の許す方は是非ご出席の上、祝福を賜りたくご案内申し上げます。

開催日時 令和元年9月25日(水) 17:00～
開催場所 「北とぴあ」16階(天覧の間)

第34回功労賞受賞者(3名:五十音順)

藤 家 梓氏(ふじいえ あずさ)

職 歴 千葉県農業試験場, 同県農業総合研究センター, 育種研究所等

業 績 ○野菜病害虫発生予察実験事業において、レタス、トマト、スイカ、キャベツを対象とし発生害虫の実態調査や調査方法の開発に尽力された。
○ナンチビガや果樹カメムシ類について発生予察法等の開発を行い、得られた技術を発生予察情報として普及された。
○コガネムシ類の天敵微生物による防除技術開発を企業と共に行い、天敵線虫製剤を開発された。

藤 崎 祐一郎氏(ふじさき ゆういちろう)

職 歴 福島県病害虫防除所, 宮城県病害虫防除所, 同県農業センター

業 績 ○イネヒメハモグリバエの発生生態調査法を検討し従来より優れた方法を確立して、多発条件を明らかにするとともに予察精度の向上に寄与された。
○斑点米カメムシ類の水田や周辺雑草地等における生息状況を詳しく調査し、主要種の時間的変遷を解析するうえで貴重なベースラインを作成された。
○研究機関だけでなく病害虫防除所職員とも多くの共同研究を行い、植物防疫職員の資質を向上させるとともに、後進の育成にも貢献された。

松 中 謙次郎氏(まつなか けんじろう)

職 歴 青森県りんご試験場, 同県畑作園芸試験場, 同県植物防疫協会等

業 績 ○リンゴ高接病に関与する2種類のウイルスを同時に検定できる指標植物を見出すとともに、種子による指標植物の大量繁殖を可能にした。
○ナガイモ褐色腐敗病, ニンニク春腐病の生理生態を解明し、その防除法を確立してその普及に尽力された。
○セリの生産性を低下させるマイコプラズマ様微生物とウイルスのフリー化に取り組み、フリー優良苗を大量増殖して産地復興に貢献された。